

## 2017 年度『総合検査案内』 各種改訂に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、弊社「総合検査案内 ANALYSIS(2017-2018)」におきましては、掲載項目の充実をはじめ、これまでに諸先生より頂いた貴重なご要望・ご意見を反映すべく見直しを実施致しました。また、弊社登録衛生検査所の登録名称表記法も統一し変更致しました。

ここに、2017 年度総合検査案内発行のお知らせとともに、今回の総合検査案内改訂における主な変更点についてご案内させていただきます。

弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### 改訂のポイント

#### ①検査受託要項の変更

一部の項目において検査方法、検体必要量、所要日数等を変更致しました。

#### ②掲載項目の見直し

ご依頼やお問い合わせの多い項目において、新規受託を開始した項目について追加掲載致しました。

#### ③登録衛生検査所の登録名称表記の変更

弊社登録衛生検査所の登録名称表記法も統一し変更致しました。

※ 詳細については、次頁以降をご参照下さい。



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

▼検査受託要項の変更

○掲載内容の変更

項目コード	項目名		変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ	
							新	現
1319	リポ蛋白リパーゼ(LPL)		検査方法	ELISA法	EIA(ELISA)法	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。	9	9
4764	尿中 NMP22定量		検査方法				46	46
7127	クラミジアトラコマチス IgM 抗体		検査方法				53	53
7527	結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能 (T-SPOT. TB)		備考 (赤字部分)	予約検査・休日の前日は受付できません。常温・凍結不可・開封厳禁。	常温・凍結不可・開封厳禁・予約検査・休日の前日は受付できません。検体は採取後、当日中にご提出ください。	検体提出時の注意事項について、適切な表記方法に変更しました。	58	58
7521	結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能 (QFT)							
4627	抗セントロメア抗体		検査方法	ELISA法	EIA(ELISA)法	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。	64	64
4711	抗カルジオリピン- $\beta_2$ -グリコ プロテイン1複合体抗体(抗CL- $\beta_2$ -GP I 抗体)				EIA法		66	66
4714	抗カルジオリピンIgG抗体				EIA(ELISA)法		68	68
4115	抗LKM1抗体							
1474	13	鼻炎・喘息・結膜炎	検体必要量 (mL)	血清各 1.4	血清 1.4	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。	78	78
1475	アレ	小児アレルギー						
1476	ルゲ	アトピー性皮膚炎						
1477	ンセ	(成人)						
1478	ット	食物アレルギー						
1466	10	鼻炎・喘息・結膜炎						
1467	アレ	小児アレルギー						
1468	ルゲ	アトピー性皮膚炎 (成人)						
1469	ンセ	食物アレルギー						
1470	ット	花粉症						

項目コード	項目名		変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ	
							新	現
7895	E B ウ イ ル ス	抗EA IgG抗体	検査方法	EIA法	EIA (ELISA) 法	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。	93	93
7896		抗EBNA IgG抗体						
7897		抗VCA IgG抗体						
7898		抗VCA IgM抗体						
7061	パラインフルエンザ 〔HI〕	1 型	基準値	血清 10 倍未満 髄液 10 倍未満	血清 10 倍未満 髄液 1 倍未満	掲載内容に不備がありました。検査内容に変更はありません。	89	89
7062		2 型						
7063		3 型						
5457	プロパフェノン		基準値	記載なし  ng/mL	(プロパフェノン及び 5-OH プロパフェノン) 50~1500  ng/mL	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。	109	109
5465	シクロスポリン		備考	サンディミュン <u>必ず単独検体で提出 して下さい</u>	サンディミュン	検体提出時の注意事項を追記しました。		
5989	エベロリムス		検査方法	ECLIA 法	ラテックス凝集比濁法	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。弊社お知らせ 2016-17 ならびに本お知らせ「表1」もご参照ください。	112	112
		基準値 (単位)	免疫抑制剤としてシクロスポリンと併用した場合のTrough 3~8 <u>抗悪性腫瘍剤として 使用した場合のTrough</u> 5~15 ng/ mL	免疫抑制剤としてシクロスポリンと併用した場合のTrough  3~8 ng/ mL				
		備考	サーティカン アフィニートール <u>シロリムス投与歴のある患者検体は検査不可</u>	サーティカン				
(6008)	糖定量		検査方法	HK-G-6-PDH 法	HK-G-6-PDH 法又は電極法	掲載内容に不備がありました。検査内容に変更はありません。	116	116
4438	ミエリンベースック蛋白(MBP)		検査方法	ELISA法	EIA (ELISA) 法	総合検査案内の見直しに伴う掲載内容の変更です。検査内容に変更はありません。	119	119

項目コード	項目名	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ	
						新	現
8007	【培養検査】 血液・穿刺液	容器	使用前容器保存方法		適切な表記方法に変更します。	133 ・ 138	133 ・ 141
			遮光・常温	常温			
8010	【特殊培養】 嫌気培養	容器	使用方法		嫌気ポーターの使用方法についてイラストを掲載します。使用方法に変更はありません。	133 ・ 140	133
			本お知らせ 10 頁 「嫌気ポーターの使用方法和注意事項」参照				
1092	アンモニア	容器	容器コード：M アンモニア検査除蛋白専用採血管		採血時の注意事項として、「真空採血厳禁」を表示しました。  ※1	7	7
							
8126 ～ 8129	病理組織顕微鏡検査	容器	容器コード：リ 病理組織検査容器		組織の固定に用いられるホルマリンは、劇物に指定されていますので、「医薬用外劇物」を表示しました。  ※2	143	143
							

※1 アンモニアの容器ラベルについて、5月下旬より順次変更させていただきます。その他、容器内容に変更はありません。

※2 病理組織顕微鏡検査容器ラベルについて、毒物及び劇物取締法が適用されるため、既に改訂したラベルの提供をしております。その他、容器内容に変更はありません。ラベル変更がされていない場合は、お近くの弊社営業所へご連絡ください。

○掲載内容の変更(既報分:お知らせ発行分)

項目コード	項目名	変更内容	新	現	検査案内書掲載ページ		お知らせ No.
					新	現	
4059	プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)	検体必要量	血清 0.5mL	血清 0.3mL	1	1	検査 No.2016-27
		検査方法	CLIA 法	RIA 固相法			
		基準値 (単位)	3.62~9.52 ng/mL	0.3~0.8 U/mL			
		備考欄	カットオフ値(肝に線維化のみられる疾患)6.95ng/mL	なし			
1166	グリココル酸(CG)	基準範囲 (単位)	50 以下 μg/dL	50.0 以下 μg/dL	5	5	検査 No.2017-15
		所要日数	4~9 日	2~7 日			
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)			
1708	SP-A(肺サーファクタントプロテインA)	所要日数	4~7日	4~8日	21	21	検査 No.2016-28
5007	AVP(アルギニンバソプレシン)	検体必要量	血漿 1.2mL	血漿 2.2mL	26	26	検査 No.2017-10
		基準値 (単位)	2.8 以下 pg/mL	4.2 以下 pg/mL			
5047	ガストリン	検体必要量	血清 0.5mL	血清 0.3mL	28	28	検査 No.2017-15
		基準範囲 (単位)	200 以下 pg/mL	200.0 以下 pg/mL			
		所要日数	4~9 日	2~7 日			
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)			
4704	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.4mL	37	37	
		所要日数	4~8 日	2~5 日			
		検査場所 (略号)	EMCL AMI ラボ (エーディア株式会社) (*F)	保健科学研究所			
5570	BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	検査方法	CLIA法	CLEIA 法	38	38	検査 No.2017-16
4357	PIVKA II 定量	検査方法	CLIA法	CLEIA 法	44	44	検査 No.2017-15
4764	尿中NMP22定量	所要日数	4~7日	4~10日	46	46	検査 No.2016-27
2017	ABO 式血液型	項目名称	ABO 血液型	ABO 式血液型	49	49	検査 No.2017-15
2018	Rh(D)式血液型	項目名称	Rh(D)血液型	Rh(D)式血液型			
2025	不規則性抗体	項目名称	不規則抗体	不規則性抗体			
(2167)	交差試験	項目コード	(2334)	(2167)			
		項目名称	交差適合試験	交差試験			
		検査方法	生理食塩液法(主試験・副試験)、 間接抗グロブリン試験(主試験:PEG)	生理食塩液法、プロ メリン法、アルブミン 法(37℃)、間接抗グ ロブリン法			

項目 コード	項目名	変更内容	新	現	検査案内書 掲載ページ		お知らせ No.	
					新	現		
4047	マイコプラズマ抗体半定量〔CF法〕	所要日数	4～8日	3～6日	51	51	検査 No.2017-15	
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
7034	オーム病クラミジア抗体〔CF法〕	所要日数	4～8日	3～6日	52	52		
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
4579	抗ガラクトース欠損IgG抗体 (CA・RF)	検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.2mL	62	62		
		所要日数	4～8日	2～5日				
		検査場所 (略号)	EMCL AMI ラボ (エーディア株式会社) (*F)	保健科学研究所				
7616	抗アクアポリン4抗体	基準値 (単位)	3.0未満(－) U/mL	5.0未満(－) U/mL	66	66		検査 No.2017-11
4740	HBV-DNA 定量(リアルタイムPCR法)	基準値 (単位)	表2参照 Log IU/mL   Log コピー/mL		84	84		検査 No.2017-15
7001	HCV-RNA 定量(リアルタイムPCR法)	基準値 (単位)	表3参照 Log IU/mL   Log IU/mL		85	85		
7903	ジェノタイプ HCV-RNA-PCR	検査場所 (略号)	保健科学研究所 第3ラボラトリー (*イ)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
4737	HIV-1RNA 定量(リアルタイムPCR法)	検体必要量	血漿 2.1mL	血漿 3.5mL	87	87		
		所要日数	4～8日	3～8日				
		検査場所 (略号)	LSI メディエンス (*1)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
7041	アデノ〔CF法〕	所要日数	4～8日	3～6日	88	88	検査 No.2017-15	
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
7058	インフルエンザ A 型〔CF法〕	所要日数	4～8日	3～6日	88	88	検査 No.2017-15	
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
7059	インフルエンザ B 型〔CF法〕	所要日数	4～8日	3～6日	88	88		
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				
7042	RS〔CF法〕	所要日数	4～8日	3～6日	88	88		
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)				

項目コード	項目名	変更内容	新	現	検査案内書掲載ページ		お知らせ No.				
					新	現					
7224	インフルエンザ A 型 (H <sub>1</sub> N <sub>1</sub> )(H <sub>3</sub> N <sub>2</sub> ) [HI 法]	基準値	血清 10 倍未満 髄液 10 倍未満	血清 10 倍未満 髄液 1 倍未満	89	89	検査 No.2016-20				
		所要日数	4~8 日	3~8 日							
		検査場所 (略称)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)							
7227	インフルエンザ B 型 (山形系統)(ビクトリア系統) [HI 法]	基準値	血清 10 倍未満 髄液 10 倍未満	血清 10 倍未満 髄液 1 倍未満	89	89	検査 No.2016-20				
		所要日数	4~8 日	3~8 日							
		検査場所 (略称)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)							
2498	トロンビン・アンチトロンビン複 合体(TAT)	検体必要量	血漿 0.4mL	血漿 0.2mL	104	104	検査 No.2017-15				
		検査方法	CLEIA 法	EIA 法							
		所要日数	1~3 日	2~5 日							
2413	血小板第4因子(PF4)	所要日数	4~9 日	4~7 日	106	106	検査 No.2016-27				
2412	β-トロンボグロブリン (β- TG)										
5099	抗てんかん剤	ニトラゼパム	検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.5mL	108	108	検査 No.2017-05			
検査方法			LC/MS/MS 法	HPLC 法							
(5909)		クロバザム	検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.5mL						
			検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法						
5847		ラモトリギン	検体必要量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL						
			検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法						
5982		ガバペンチン	検体必要量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL						
			検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法						
			所要日数	4~8 日	4~9 日						
(5457)		プロパフェノン	検体必要量	血清 0.3mL	血清 1.5mL				109	109	検査 No.2017-05
検査方法			LC/MS/MS 法	HPLC 法							
5175		コハク酸シベンゾリン	検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.5mL						
	検査方法		LC/MS/MS 法	HPLC 法							
5491	アプリンジン	検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.5mL	110	110	検査 No.2017-05				
		検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法							
5375	フレカイニド	検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法							
5770	アミオダロン	検体必要量	血漿 0.3mL	血漿 0.6mL							
		検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法							
5849	ベプリジル	検体必要量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL							
		検査方法	LC/MS/MS 法	HPLC 法							

項目コード	項目名		変更内容	新	現	検査案内書掲載ページ		お知らせ No.
						新	現	
5466	解熱鎮痛剤 消炎剤	アセトアミノフェン	検査方法	EIA 法	酵素法	111	111	検査 No.2017-11
			基準値 (治療濃度 範囲)(単位)	200.1 以上(4 時間) 100.1 以上(8 時間) 50.1 以上(12 時間) μg/mL	中毒域 4 時間後 200.0 以上 12 時間後 50.0 以上 μg/mL			
			備考 (製品名、製 剤名当)	アセトアミノフェン、 ピリナジン、ナパ	記載なし			
7981	クラミジア・トラコマチス DNA 〔SDA〕《男子初尿》	容器	容器コード:セ		59	59	検査 No.2017-15	
7982	淋菌 DNA〔SDA〕《男子初尿》		お知らせ 2017-15 を参照ください		60	60		
7983	淋菌/クラミジア・トラコマチス 同時測定 DNA〔SDA〕《男子初 尿》							
7976	クラミジア・トラコマチス DNA 〔SDA〕《子宮頸管擦過物》	容器および 容器コード	容器コード		59	59		
			ス1	ス				
7977	淋菌 DNA〔SDA〕《子宮頸管擦 過物》		お知らせ 2017-15 を参照ください		60	60		
7978	淋菌/クラミジア・トラコマチス 同時測定 DNA〔SDA〕《子宮頸 管擦過物》							
7976	クラミジア・トラコマチス DNA 〔SDA〕《男子尿道擦過物》		容器コード		59	59		
			ス2	ス				
7977	淋菌 DNA〔SDA〕《男子尿道擦 過物》		お知らせ 2017-15 を参照ください		60	60		
7978	淋菌/クラミジア・トラコマチス 同時測定 DNA〔SDA〕《男子尿 道擦過物》							

▼掲載項目の見直し

○新規掲載項目(既報分:お知らせ発行分)

項目コード	項目名	検査案内書掲載ページ	お知らせ No.	項目コード	項目名	検査案内書掲載ページ	お知らせ No.
5536	25-ヒドロキシビタミンD	19・157	検査 No.2016-22	1494	胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)	55・157	検査 No.2017-14
7677	Y染色体微小欠失 (AZF欠失)	148・158	検査 No.2017-01	1495	胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)(除菌歴あり)		
1493	【IgE 特異的アレルゲン (疾患別セット)】 成人食物アレルギー13 セット	78・158	検査 No.2017-02	7691	EGFR遺伝子変異解析 《血漿》	132・159	検査 No.2017-27



○掲載を削除した項目(既報分:お知らせ発行分)

項目コード	検査項目	お知らせ No.	
5129	副甲状腺ホルモン HS-PTH (高感度PTH)	検査 No.2017-06	
5033	総エストロゲン(妊婦)	検査 No.2017-12	
7971	クラミジア・トラコマチス DNA [SDA]《咽頭擦過物》	検査 No.2017-07	
7972	淋菌 DNA[SDA]《咽頭擦過物》		
7973	淋菌/クラミジア・トラコマチス 同時測定 DNA[SDA]《咽頭擦過物》		
4298	抗セントロメア抗体[FA法]		
4219	ハトのふん (IgEシングルアレルギー)	検査 No.2016-23	
3282	鶏肉	ヒスタミン遊離試験(HRT)	検査 No.2017-07
3283	豚肉		
3284	牛肉		
3287	マグロ		
3288	サケ		
3289	サバ		
3292	ヒノキ		
3294	ヨモギ		
3302	アルテルナリア		
3303	ゼラチン		
3314	食物4 (鶏卵+卵成分)		
3315	食物5 (肉類+甲殻類)		
3316	食物6 (肉類+豆類)		
3320	食物10 (基本+魚類)		

項目コード	検査項目	お知らせ No.	
3321	食物11 (甲殻類+魚類)	ヒスタミン遊離試験(HRT)5項目セットアレルギー	検査 No.2017-07
3323	吸入2(ハウスダスト+ダニ+真菌関連)		
3324	吸入3 (花粉)		
3325	吸入4 (動物+真菌)		
7055	ポリオウイルス1型[CF]	検査 No.2016-25	
7056	ポリオウイルス2型[CF]		
7057	ポリオウイルス3型[CF]		
(2305)	● 薬剤感受性検査(実施薬剤) セフォジム(CDZM)	検査 No.2017-09	
4282	抗r-RNP抗体(抗リボソームP抗体) [MO法]	検査 No.2017-07	
4283	抗Ki抗体[MO法]		
4280	抗PCNA抗体[MO法]		
4281	抗Ku抗体[MO法]		
4433	抗Tu抗体[MO法]		
4434	抗Wa抗体[MO法]		
4425	抗MM抗体[MO法]		
4423	抗LKM1抗体[MO法]		
4424	抗p97/VCP抗体[MO法]		
4421	抗PL-7抗体		
4426	抗SRP抗体	検査 No.2016-18	
4695	抗PL-12抗体		
4696	抗EJ抗体		
4697	抗Th/To抗体		
4698	抗U3RNP抗体		

○掲載を削除した項目

項目コード	検査項目	備考
1963	ペントシジン	総合検査案内からは削除させていただきますが、受託は継続致します。

表1. 主な薬物の採血時間

新		現	
検査項目	採血時間	検査項目	採血時間
【抗悪性腫瘍剤】 エベロリムス(アフィニトール)	投与直前(トラフ)	記載なし	記載なし
【免疫抑制剤】 エベロリムス(サーティカン)	投与直前(トラフ)		

表2. HBV-DNA 定量(リアルタイム PCR 法)の判定

	新		現	
	測定結果	測定結果	測定結果	測定結果
定量値	1.0～9.1 以上	陽性	2.1～9.0 以上	陽性
増幅反応シグナル	(+)		(+)	
定量値	1.0 未満	陽性*	2.1 未満	陽性*
増幅反応シグナル	(+)		(+)	
定量値	1.0 未満	陰性	2.1 未満	陰性
増幅反応シグナル	(-)		(-)	

\* 測定下限値が 1.0 未満であっても、増幅反応シグナルが(+)の場合はウイルスの存在を示しているため、判定は陽性となります。

\* 測定下限値が 2.1 未満であっても、増幅反応シグナルが(+)の場合はウイルスの存在を示しているため、判定は陽性となります。

表3. HCV-RNA 定量(リアルタイム PCR 法)の判定

	新		現	
	測定結果	測定結果	測定結果	測定結果
定量値	1.2 ～ 8.1 以上	陽性	1.2 ～ 8.0 以上	陽性
増幅反応シグナル	(+)		(+)	
定量値	1.2 未満	陽性*	1.2 未満	陽性*
増幅反応シグナル	(+)		(+)	
定量値	1.2 未満	陰性	1.2 未満	陰性
増幅反応シグナル	(-)		(-)	

\* 測定結果が 1.2 未満であっても、増幅反応シグナルが(+)の場合はウイルスの存在を示しているため、判定は陽性となります。

\* 測定結果が 1.2 未満であっても、増幅反応シグナルが(+)の場合はウイルスの存在を示しているため、判定は陽性となります。

【嫌気ポーターの使用方法と注意事項】

\* 正確に安全に嫌気性菌を輸送・保管するために、検体の採取は下記の手順に従い十分注意して行ってください。

**A**  
ゴム栓を外さない場合  
注射器による方法  
(胸水、腹水、尿、  
穿刺液など)



消毒用アルコール綿などを用いてゴム栓の刺通部を消毒してください。

注射針を刺通部に刺し検体を注入してください。

速やかに輸送するか、冷蔵庫に保管してください。

**B**  
ゴム栓を外す場合  
綿棒などによる方法  
(便、膿、組織片  
など)



容器を立てたままの状態ですぐ深くゴム栓を外してください。

ゴム栓を外し、速やかに検体を入れ、ゴム栓を閉めてください。この時、傾けないように注意してください。

速やかに輸送するか、冷蔵庫に保管してください。

**注意事項**

- インジケーター付き寒天の表面に通常、凝固水が溜まりますが、菌の輸送・保管には支障ありません。
- 検体採取後数分経過すると、僅かに着色がありますが、使用に差し支えありません。
- ゴム栓を外す時は、ゴム栓に付着した検体が飛散するおそれがあるため、ゆっくり外してください。
- 輸送する場合は、極力立てた状態で行ってください。
- 本品は輸送・保管容器のため、培養には使用できません。

▼登録衛生検査所の登録名称表記の変更

登録衛生検査所の登録名称を、下記に変更致しました。

検査実施場所、お問い合わせ先等につきましては、これまで通り変更ございません。

宜しくご了承賜りますようお願い申し上げます。

保健科学グループ

新	現
保健科学 総合研究所	保健科学研究所
保健科学 第2ラボラトリー	保健科学研究所 第2ラボラトリー
保健科学 第3ラボラトリー	保健科学研究所 第3ラボラトリー
保健科学 北見ラボラトリー	保健科学研究所 北見ラボラトリー
保健科学 札幌ラボラトリー	保健科学研究所 札幌ラボラトリー
保健科学 釧路ラボラトリー	保健科学研究所 釧路ラボラトリー
保健科学 函館ラボラトリー	保健科学研究所 函館ラボラトリー
保健科学 酒田ラボラトリー	保健科学研究所 酒田ラボラトリー
保健科学 仙台ラボラトリー	保健科学研究所 仙台支社
保健科学 郡山ラボラトリー	保健科学研究所 郡山ラボラトリー
保健科学 松戸ラボラトリー	保健科学研究所 松戸ラボラトリー
保健科学 県央ラボラトリー	保健科学研究所 県央ラボラトリー
保健科学 三島ラボラトリー	保健科学研究所 三島ラボラトリー
保健科学 静岡ラボラトリー	保健科学研究所 静岡ラボラトリー
保健科学 富山ラボラトリー	保健科学研究所 富山ラボラトリー
保健科学 諏訪ラボラトリー	保健科学研究所 諏訪ラボラトリー
保健科学 浜松ラボラトリー	保健科学研究所 浜松ラボラトリー
保健科学 名古屋ラボラトリー	保健科学研究所 中部支社
保健科学 大阪ラボラトリー	保健科学研究所 大阪支社
保健科学 西脇ラボラトリー	
保健科学 和田山ラボラトリー	
保健科学 広島ラボラトリー	保健科学研究所 広島ラボラトリー
保健科学 北九州ラボラトリー	保健科学研究所 北九州ラボラトリー
保健科学 福岡ラボラトリー	保健科学研究所 福岡ラボラトリー
保健科学 沖縄ラボラトリー	保健科学研究所 沖縄ラボラトリー
保健科学 東京ラボラトリー	保健科学東京
保健科学 新潟ラボラトリー	保健科学新潟
保健科学新潟 長岡ラボラトリー	保健科学新潟 長岡ラボラトリー